



めだか通信211号

桐生市教育支援センター「あぷろーち」



「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉通り、桜のつぼみも膨らんできて、ようやく春らしい陽気になりました。春は別れと出会いの季節です。「あぷろーち」からも中学3年生が卒業し、4月からの新たなスタートに向けて準備をしています。

「あぷろーち」では、この一年予定していたすべての行事・活動が無事に実施でき、日々の生活の中で子どもたちの笑顔にたくさん出会えたことが私たちの喜びでもあります。

今月号は、3月に実施した調理実習「ちらし寿司」と「じゃがいも植え」についてお知らせします。

【調理実習～ちらし寿司～】

桃の節句であり、卒業・進級のお祝いも兼ねて、あぷろーちの最後の行事である「ちらし寿司」の調理実習が行われました。

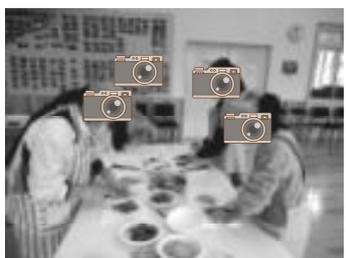
ご飯を炊いて酢飯を作ったり、錦糸卵を焼いたり、具材を刻み準備したりと、子どもたちは積極的に作業に取り組んでくれました。それぞれが、好きな具材をトッピングして春を感じさせるとても豪華なちらし寿司が完成し、お腹いっぱい食べることができました。



【野菜の下準備】



【錦糸たまご作り みんなとてもじょうずでした】



【具材の準備 包丁の扱いにも少しずつ慣れ、細かく刻むことも得意になりました】



【酢飯作りも手際がいい】



【好みのものをトッピングし、ちらし寿司が完成】



【栽培活動～じゃがいも植え】

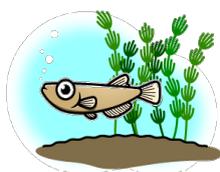
春らしくなり暖かい日になりましたので、じゃがいもの種芋を植えました。新しい畑は2月に肥料を入れ、耕してきました。6月には収穫し、調理実習の「カレー作り」で使う予定です。4月には人参の種蒔きもする予定です。収穫や調理実習が今から楽しみです。



【慣れない道具に苦戦中】

【丁寧に種芋を置きました】

【無事に植え付け終了！】



【めだかのつづき】

今年度は「施設の移転」という大きな出来事があり、いろいろな意味で節目の年となりました。1月から新築された教育支援センター「あぷろーち」での生活が始まり、子どもたちは、新しく充実した施設での生活にも慣れてきて、それぞれが学習や活動に意欲的に取り組んでいます。また、旧研究所にいた「メダカ」と「ヌマエビ」も一緒に引っ越し、新しい水槽で元気に泳いでいます。

子どもたちの成長を見守りながら過ごした一年も間もなく終わりになります。この一年で子どもたちがさまざまな体験や活動を通して成長していく姿を見ることができとても嬉しく思います。

子どもたちが不登校になる要因は一人一人違います。人との関わりや集団で生活するのが苦手、繊細すぎて人の視線や発言が気になる、友人、部活、家族関係で悩んでいる、学習が不安、自己肯定感が低く自分に自信がもてないなど本当にさまざま複雑です。そうした子どもたちがあぷろーちに通所し、「小・中学生」が小さな集団で一緒に活動する中で、少しずつ自信をもって積極的に行動、発言することができるようになってきました。大きな集団の中では埋もれてしまいがちな子どもたちが、役割を与えられ、経験を積むことで自信をもち、最後には自分から進んで役割を果たそうとするまで成長していきました。そしてマスク越しでも硬かった表情が柔らかくなり笑顔も増えていきました。学校への復帰にはなかなかつながらない子どもたちもいますが、以前よりも前向きに生活ができるようになってきていると思います。

4月の新学期に向け、子どもたちは新たな気持ちで一步踏み出そうとしています。子どもたちが書いたチャレンジシートには「始業式には登校したい」「週に3日くらいは学校に行きたい」「部活動に参加してみたい」「友達と話をしてみたい」など前向きな目標が並んでいます。

これまで支えていただいた家族の皆様、学校関係者の皆様にご改めて感謝申し上げますとともに、4月からのスタートに向けて各家庭や学校において、子どもたちの思いや願いを再度確認していただき、背中を押していただけますよう御理解と御協力をお願いいたします。

「めだか通信」も211号をもって今年度最終号となります。一年間ありがとうございました。

2025年3月26日 発行

TEL 46-6314

